

少年警察学生ボランティアの活動状況等についての調査

公益社団法人全国少年警察ボランティア協会

1 調査目的

少年警察ボランティア活動の将来を考慮し、さらにこの活動の拡大を図るため、年齢的にも意識的にも少年に近い若い人たちに活動への参加を求めて、大学生等を少年警察ボランティアとして委嘱することが全国で進められてきた。

この結果、その委嘱数は、平成25年2月末現在1,526名に達しているが、今後、この制度の充実、発展に資するため、少年警察ボランティアの活動状況等について、調査を行った。

2 調査実施者等

調査実施

公益社団法人全国少年警察ボランティア協会

40都道府県少年警察ボランティア協会

協力

警察庁 40都道府県警察本部少年課等

3 調査対象者

現に警察本部長等から委嘱され、又は警察本部に登録されている少年警察学生ボランティア

4 調査方法

(1) 調査期間

平成25年3月6日から平成25年3月31日まで

(2) 調査方法

少年警察学生ボランティアの中から無差別に抽出した581名に対し、調査用アンケート用紙(質問及び回答(無記名))に返信用封筒を添えて、各対象者宅に送付し、410名から回答を得た。(回収率70.6%)

回収した回答を公益社団法人全国少年警察ボランティア協会にて集計分析した。

5 調査結果

別紙(「少年警察学生ボランティアの活動状況等のアンケート調査結果」)のとおり。

別添

少年警察学生ボランティアの活動状況等アンケート調査結果

平成24年度

対象学生581名 アンケート提出者数 410名
(回収率70.6%)

問 1 少年警察学生ボランティアの委嘱期間等

学校	大学	大学院	短大	その他	無回答	計
	368	17	19	3	3	410
	89.8%	4.2%	4.6%	0.7%	0.7%	100%

その他の内容
高校生1名、専門学校生2名

男子	女子	無回答	計
179	228	3	410
43.7%	55.6%	0.7%	100%

大学生	1学年	2学年	3学年	4学年	無回答	計
	40	85	148	117	20	410
	9.8%	20.7%	36.1%	28.5%	4.9%	100%

ボランティア 活動の 期間	半年未満	39	9.5%
	半年以上1年未満	171	41.7%
	1年以上2年未満	108	26.4%
	2年以上3年未満	62	15.1%
	3年以上	25	6.1%
	無回答	5	1.2%
合計		410	100%

問2 あなたは少年の非行防止・健全育成を行う学生ボランティアのことを、何で知りましたか。
(複数回答)

1	在学する学校の教員や職員から聞いて知った	179	34.4%
2	既にボランティア活動を行なっている友人等から聞いて知った	107	20.5%
3	募集ポスターやリーフレットを見て知った	91	17.5%
4	警察の人から聞いて知った	69	13.2%
5	警察のホームページを見て知った	21	4.0%
6	学生以外のボランティアから聞いて知った	14	2.7%
7	新聞、テレビ、ラジオなどの報道を見聞きして知った	7	1.3%
8	全国少年警察ボランティア協会のホームページを見て知った	6	1.2%
9	その他～主な内容	27	5.2%
	所属する部に依頼があって知った		
	大学の授業で、警察本部訪問があり、その際、少年サポートセンターの方に話を聞いて知った		
	自分が小学生の頃から、サポートセンターへ通っていたから		
	部活動の先輩		
	学生寮の寮母		
	大学のボランティアメールを見て		
	大学ボランティアセンターの紹介		
	計	521	100%

問3 あなたが少年の非行防止・健全育成のボランティア活動を行うようになったきっかけは、何ですか。
(複数回答)

1	自分の将来に役立つ、又は活かせると思って	271	32.4%
2	社会的に意義のある活動だと思って	181	21.6%
3	少年の非行防止・健全育成に携わる活動がしたくて	168	20.1%
4	子どもと関わりのある活動がしたくて	165	19.7%
5	友人と一緒に活動したくて	34	4.1%
6	その他～主な内容	18	2.1%
	部に依頼があったのがきっかけ		
	卒業論文の参考にするため		
	祖父が、警察のボランティアをされておりその影響で		
	昔からお世話になっているから		
	警察官の活動について知りたかったから(将来警察の少年課を希望)		

	自分の活動範囲を広げなかったから		
	地域の方とも関わりたいと思った		
	児童自立支援での活動に参加できるため		
	警察に勤める知人に頼まれて		
	警察官（父）から勧められて		
	計	837	100%

問4 あなたは、これまで少年の非行防止・健全育成のボランティア活動として、どのような活動を行ったことがありますか。（複数回答）

1	非行防止キャンペーン等のイベント参加	164	16.3%
2	街頭補導活動	163	16.2%
3	学習支援活動	140	14.0%
4	スポーツ活動	123	12.3%
5	社会奉仕活動（公共施設清掃、社会福祉施設訪問等）	116	11.6%
6	料理教室	105	10.4%
7	農業体験活動	89	8.9%
8	学校等における非行防止教室	65	6.5%
9	その他～主な内容	38	3.8%
	仮設住宅訪問		
	東日本大震災復興活動		
	独居老人宅へ民生員と同行		
	野外炊事等のキャンプ		
	地域安全マップ指導者養成講座		
	サイバー犯罪対策1日課長		
	タッチヤング大会への活動支援		
	小学校の行事に伴う児童引率		
	サポートルームでの活動		
	保育園での人形劇（対象少年と共に）		
	児童クラブでの防犯教室		
	立ち直り支援に伴う対象少女との面談立ち会い		
	計	1,003	100%

問5 あなたは、少年の非行防止・健全育成のボランティア活動を行う際に、不安に思ったことはありませんか。

1	不安に思ったことがある。	214	52.2%
2	不安に思ったことはない。	193	47.1%
3	無回答	3	0.7%
計		410	100%

問6 上記問5で「不安に思ったことがある」と回答した方のみお答えください。あなたが不安に感じたことは、どのようなことですか。（複数回答）

1	少年とのコミュニケーションの仕方について不安に感じたことがある	152	47.9%
2	活動をどのように行って良いか分からず不安に感じたことがある	115	36.3%
3	少年の言葉・態度等に不安に感じたことがある	30	9.5%
4	学業や就職活動に支障が及ばないか不安に感じたことがある	7	2.2%
5	活動で怪我をしないか不安に感じたことがある	4	1.3%
6	その他～主な内容	9	2.8%
	参加回数が少なく、続けていて迷惑にならないか不安だった		
	少年に楽しんでもらえるか、また、そのような場面を作り出せるか心配だった		
	積極的に良く動けるかどうか		
	自分に務まるかどうか、少年等とちゃんとコミュニケーションが取れるかどうか		
計		317	100%

問7 あなたは、少年の非行防止・健全育成のボランティア活動として、どのような活動を行ってみたいと思いますか。（複数回答）

1	スポーツ活動	222	16.3%
2	学習支援活動	213	15.6%
3	社会奉仕活動（公共施設清掃、社会福祉施設訪問等）	188	13.8%
4	農業体験活動	162	11.9%
5	料理教室	158	11.6%
6	街頭補導活動	155	11.4%
7	非行防止キャンペーン等のイベント参加	147	10.8%
8	学校等における非行防止教室	111	8.2%
9	その他～主な内容（震災で親を失った少年の援助等）	6	0.4%
計		1362	100%

問 8 あなたは、これまで、少年の非行防止・健全育成のボランティア活動を行うために必要な研修や指導を受けたことはありますか。

1	研修や指導を受けたことがある。	206	50.2%
2	研修や指導を受けたことはない。	201	49.0%
3	無回答	3	0.8%
計		410	100%

問 9 上記問 8 で「研修や指導を受けたことがある」と回答した方のみお答えください。あなたが受けた研修や指導の内容は、どのようなことですか。（複数回答）

1	少年の非行防止・健全育成のボランティア活動の意義や活動内容について	168	38.7%
2	活動を行うに当たって、実施要領やその際の注意すべき点について	148	34.1%
3	少年の心理や特性など、少年と接するに当たって理解しておくことについて	112	25.8%
4	その他～主な内容	6	1.4%
	大学の教授から講義を受けた		
	防犯の一環として子どもの安全確保		
	インターネットの危険性		
	近年の非行少年の実態や学習支援の方法		
	他県の活動報告会やディスカッション		
計		434	100%

問 10 あなたが少年の非行防止・健全育成のボランティア活動を行うために必要だと思う研修や指導は何ですか。（複数回答）

1	少年の心理や特性など、少年と接するに当たって理解しておくことについて	340	39.4%
2	活動を行うに当たって、実施要領やその際の注意すべき点について	264	30.6%
3	少年の非行防止・健全育成のボランティア活動の意義や活動内容について	248	28.7%
4	その他～主な内容	11	1.3%
	このボランティアは、決して危険なボランティアではないことを理解させる		
	中学・高校生を交えた意見交換会		
	学習支援に関し、どのように学習を行っていけばよいかなどの方針や、どのように日報を作成すればよいか等事前に詳しい説明が欲しい		
	警察の現状や限界について		
	多角的に物事をとらえる思考力と受容する決断力の養成		
	少年の処遇制度と機関について（対象少年がどこに該当するか等）		
計		863	100%

問 1 1 あなたは、これまで、少年の非行防止・健全育成のボランティア活動を行うあたり、少年警察ボランティア協会、警察、その他の機関・団体から、活動に必要な支援を受けたことはありますか（研修は除く）。

1	活動に必要な支援を受けたことがある	256	62.4%
2	活動に必要な支援を受けたことはない	153	37.3%
3	無回答	1	0.3%
計		410	100%

問 1 2 上記問11で支援を受けたことが「ある」と回答した方のみお答えください。あなたが受けた支援の内容は、どのようなことですか。（複数回答）

1	活動場所へ行くための交通費	175	35.2%
2	活動に必要な物品の提供	159	32.0%
3	活動を行ったことに対する謝礼（交通費を除く）	86	17.3%
4	活動を行う際のボランティア保険の加入負担	64	12.9%
5	その他～主な内容（活動場所への車両搬送等）	13	2.6%
計		497	100%

問 1 3 あなたが少年の非行防止・健全育成のボランティア活動を行うために必要だと思う支援は何ですか（研修は除く。）。（複数回答）

1	活動に必要な物品の提供	250	37.5%
2	活動場所へ行くための交通費	235	35.2%
3	活動を行う際のボランティア保険の加入負担	132	19.8%
4	活動を行ったことに対する謝礼（交通費を除く）	32	4.8%
5	その他～主な内容 ・万一来備え、活動参加者に対する武道訓練 ・ボランティアなので、交通費等の支援は必要ない	12	1.8%
6	無回答	6	0.9%
計		667	100%

問 1 4 あなたが少年の非行防止・健全育成のボランティア活動を行っていることについて学校では、どのように評価されていますか。

1	学校から評価を受けるために行っていないので、分からない（必要ない）	168	41.0%
2	ボランティア活動を行っているが、学校からは特に評価はない	115	28.1%
3	学校はボランティア活動を行っていることを知らない	82	20.0%
4	学校から、ボランティア活動を行っていることについて評価を受けている	35	8.5%
評価の主な内容			
	先生に口頭で褒められた程度		
	賞をもらえる		
	団体の賞において、学生ボランティアが受賞したことを受けて大学から「大学功労賞」の受賞及び奨励費を授与された		

	学校表彰		
	単位認定		
	どのような評価なのか分からないが、大学に提出する書類欄に「ボランティア活動」欄がある		
	奨励賞		
	学校というよりも、学科の先生方から「良い活動を行っている」と評価を受けることがある		
	活動が認められ学長から特別賞を頂いた		
	学生課から活動内容を聴取され、口頭であるがすばらしいとの評価をいただいた		
	ボランティア活動の総時間数によって表彰される		
5	無回答	10	2.4%
	計	410	100%

問 15 全国少年警察ボランティア協会では、大学生の皆さんの少年の非行防止・健全育成のボランティア活動への参加を促進し、活動をもっと広げていきたいと考えています。そこで、他の学生にボランティア活動への参加を呼びかけるには、どのようなことが必要と思いますか。（複数回答）

1	大学構内や学生が利用する施設への募集用ポスターの掲示	291	33.1%
2	入学時のオリエンテーションや学園祭等の学生が集まる機会を利用した募集活動	249	28.3%
3	活動概要・写真が掲載されたリーフレットを利用した募集活動	163	18.5%
4	ホームページや広告誌等への活動概要の掲載	150	17.0%
5	その他～主な内容	27	3.1%
	大学生のいる家庭にパンフレット等を郵送して広報する		
	大学側（学校の先生・事務員）が募集学生を呼びかける働きかけがないと広まらないと強く感じた		
	ポスターより教授等に働きかけ、直接的な募集が効果的		
	S M S ・ ツイッター等の利用者が多いツールに焦点を当て募集する		
	ボランティア活動自体を盛んにして、魅力あるものにする		
	実際に活動しているボランティアからの呼びかけ		
	将来、警察官や教師を目指している学生に重点的に呼びかける		
	教員からの直接的な誘い		
	大学生ボランティア自身が、自分が見てふさわしいと思う学生を勧誘する方法		
	テレビ放送で呼びかける		
	公務員試験の予備校などに協力してもらい、主に就職活動を見据えた学生に対して呼びかけてもらう		

	ボランティアに参加している学生を通じて、友人等に対して呼びかけてもらう		
	大学でボランティア活動の募集をした学科が一つであったので、複数の学科、学部に募集をする		
	大学入学時のオリエンテーションなどで広報があればもっと早く沢山の学生が参加したのではないか		
	学生ボランティア募集ポスターは、活動内容を写真などで具体的にすると「やってみようか」等と思う、単に「非行防止・少年のサポート」等と書かれていても不安に思う		
	参加申し込み方法を明確し、ホームページからも参加申し込みが出来るようにする		
	報道機関を利用する		
	非行少年との交流会などを通して活動内容の紹介		
	計	880	100%

問16 あなたが少年の非行防止・健全育成のボランティア活動をされて、良かった（あるいは悪かった）と感じられたことがあれば、自由に記載してください。

- 1 少年の成長が感じられた時が良かった。
- 2 学習支援で少年が、一度間違った問題を解き直して正解した時達成感がある。
- 3 活動を通じて、少年と接する機会を得て、今後、少年とどう付き合っていくか等、将来の仕事の参考になった。
- 4 大学生ボランティアだからこそ良かったというような声が聞いたこと。（例えば「年が近いから話しやすい」等）。
- 5 他の大学生との交流や、色々な施設の訪問等、どのボランティアよりも警察ボランティアが一番楽しく、やりがいがある。
- 6 非行少年に対する間違った考えを改めることが出来た（少年の素顔は普通の子と変わらない）。（複数回答）
- 7 子どもたちとふれ合い、農業体験等を通して自分も成長することが出来た。
- 8 全般的な活動に参加して自己啓発が出来た、今後も何かの機会があれば参加したい。有意義な活動であった。
- 9 非行防止キャンペーンにおいて、少年らが配付資料など熱心に見ている姿を見て、充実感を実感できた。
- 10 人とのつながりの大切さ、活動のイベントの成功に向けた協力態勢、新たな出会いがプラスになった。
- 11 様々な人たちとコミュニケーションが取れ有意義であった。
- 12 一人であまり出来ない活動（清掃活動等）を他の大学生や地域の人達と共に活動できた。
- 13 警察官と交流が出来、少年の非行防止や健全育成に貢献できた。
4年間のボランティアを通じて少年や地域住民と出会いそのつながりから得たことは、数え切れない。学習支援活動では、共に目標に向かって頑張ることが出来、私自身も少年達から学ぶことが多々あった。
- 15 少年補導は、意味がないと感じた。
- 16 少年と共に活動していて、笑顔に接した時、活動して良かった。（多数）
- 17 卒業論文のテーマなので、実際に少年と活動でき理解することが出来て良かった。
- 18 少年達と一緒に活動をしてコミュニケーションが取れ、彼らがポジティブな働きが出来たとき。
- 19 県の非行情勢について知る機会になり、無関心でなくなった。
- 20 活動が少年の人生に少しでも影響を与え、良い方向へ変化していくと実感した時。

- 21 現在の大学生などは、コミュニケーション能力に欠けると言われるが、その原因が、小・中学校時に単語で会話するところにあるのではと感じることが出来た。
- 22 学習支援を何度か続けているうちに、少年と勉強以外にも話が出来るようになったこと。
- 23 活動回数が少なく不満。
- 24 非行が多かったカラオケ店に毎回補導を行ったところ、徐々に補導の効果が現れたこと。
- 25 不登校であった学習支援対象少年に偶然出会い、「今は高校へ行ってますよ、俺と同じように他の奴も高校に行かせてやって下さい」と励まされた。
- 26 学習支援活動において警察本部と学校の先生とのやり取りに齟齬を来し、戸惑う場面があった。
- 27 少年との信頼関係が構築でき将来の糧となった。
- 28 街頭補導の時間帯を工夫して、通常少年がいない時間に実施すべきである。
(例えば平日の昼間帯や下校直後の時間帯)
- 29 活動体験から非行少年は、周りに大人がいると強がるが、大学生と1対1になると素直に言うことを聞くので非行少年に対するイメージが変わった。
- 30 様々な世代、生活をしている人と出会うことが出来、新しい価値観を持つことが出来るようになった。
- 31 対象少年が社会や学校に復帰した時、自分が行っている活動を誇りに思う。
- 32 少年は、手のつけられないくらいの非行少年や不良がいて交流に苦勞すると思っていたが、接してみるとごく普通の子ども帯だったので驚いた。
- 33 肩書きだけで、そのような活動をしたことがなく現在の活動は、子どもの遊び相手同様である。
- 34 自分が社会の一員としての責任を果たせたような実感を持った。
- 35 学習支援において、生徒の学習到達レベルに差があるため、生徒ひとり一人に合うような簡単な学習教材があればよい。
- 36 非行に走ってしまう少年心理や特性を、活動を通じて知ることが出来、更には、少年警察の仕事の内容も把握できた。
- 37 活動に参加できない時、少々断りにくく、心苦しかったり無理して参加した時もあるので配慮してもらいたい。
- 38 大学の授業に取り入れれたり、小・中・高校生の道徳や、総合授業に入れる。
- 39 他のボランティアでは、体験できないことが体験出来た。
- 40 少年と「将来の夢」について話が出来た。
- 41 「自分にも出来ることがある」と自信になった。
- 42 様々な事情を抱えた少年と関わる事が出来た。
- 43 今まで「怖い」や「関わりたくない」と思っていた、非行少年の子ども達としっかり関わる事ができ、自分の中で少年達に抱いていた偏見を払拭できた。
- 44 人のために動くということの素晴らしさを認識することが出来て人生の大きなプラスになった。
- 45 現在の少年たちの現状を肌で感じる事ができ、様々な小・中学校を訪問した事で、学校ごとの問題点や特色など把握することが出来た。
- 46 嫌われたり、しつこいと思われてもそれでも活動の意味があることが分かった。誰かが嫌がられる役に回るといふことの大切さを学んだ。教師になることを目標にしているので良い勉強になった。
- 47 非行防止キャンペーンの資料作成過程において「薬物」についてクイズを作成したが、自分自身が大変勉強になった。
- 48 少年等は、どこか心の闇を持っていると思った、自分自身も少女時代に問題を起こし警察のお世話になった経験があるが、活動を通じて少しでもお役に立てて良かった。
- 49 普段の生活の中で関わる事のない人達と関わる事ができ、特に警察という組織への理解が深まった。

問 1 7 大学生の皆さんが少年の非行防止・健全育成のボランティア活動を行う上で、全国少年警察ボランティア協会に要望いただくことがありましたら、自由に記載してください。

- 1 初めての支援だと勝手が分からないので、前回の支援の様子ややり方を教授してもらいたい。
- 2 自分が行った活動に対する反応を目に見える形で出していただけると、活動への意欲がにつながる。
- 3 時に、ボランティア活動の場所が遠いので、なるべく近くの活動場所が良い。
- 4 全国統一キャンペーンや全国の学生同士の交流会、ボランティア活動をしていない学生への広報活動
- 5 本当に少年の非行を防ぐのであれば、もっと積極的に活動すべきである。
- 6 少年の非行防止キャンペーンや健全育成活動をもっと増やす。
- 7 ボランティア側の自己満足でなく、本当に少年達自身のためになる活動であるべきだと思う。勉強させてもらったのは私たちであった。
- 8 実施場所を公共交通機関の整備された所にしていきたい。
- 9 ボランティアを行うための研修や、指導を受ける機会を増やして頂ければ、学生が自信を持って活動出来る。
- 10 大学生の参加が少ない（講義等の都合もある）ので、もっと、学生に参加してもらうためには魅力ある活動の工夫が必要。
- 11 夏休み等の休暇時に、他の地域ボランティア団体の日常的な活動を体験する制度があれば視野が広がる。
- 12 初めに、学生ボランティアが何をしたらいいのか、学生に何を求めているのか等を記したマニュアルがあれば、これからボランティアに参加しようとしようとする人は心強い。
- 13 もっと、活動内容や活動の重要性をアピールして欲しい。知らない人が多いのでは。
- 14 活動種別が少なかったので、色々な種別の活動を実施させた方が良い。（学習支援など）
- 15 少年等と交流を持ち、現実理想通りには行かないということを経験できた。
- 16 全国レベルの活動や交流会等を実施し情報の共有があればよい。
- 17 ボランティア活動があること自体知らない学生が多いので募集広報を活発に実施する。
- 18 数、質ともだめ、今のままでは効果はほぼゼロに近い。
- 19 活動日数を増やして欲しい。
- 20 昨年、西日本の大学生ボランティア研修会に参加したが、東西合同の研修会を開催し意見交換したい。また、研修会を管区ごとの規模で実施してもらいたい。（複数）
- 21 少年と対話するうえで、少年に対する接し方や心理学を用いた話術などの講習会があると自信を持って活動できる。
- 22 活動費が出ないことがあり、交通費が自腹になることがある。交通費を支給して欲しい。
- 23 活動費が少なく、やりたい活動（演劇等の材料費）が出来ない。
- 24 「行きたい、参加したい」と思うボランティアがあっても交通費が高くあきらめることが何度かあったので配慮してもらいたい。
- 25 夜回りなどの活動を展開するためにも、警察による武道教室等を開いていただきたい。
- 26 ボランティアに参加している証明のようなものがあれば欲しい。
- 27 このアンケートは、問 1 の時点でかなり個人が特定でき、匿名の意味がない。
- 28 ボランティアに興味を持っている学生が多いのに対し、このような活動があることを知らない学生が多いので情報をもっと提供してもらいたい。
- 29 未成年の喫煙防止
- 30 ボランティア活動の種類等が載っている資料があるとよい。
- 31 学習支援活動は、支援室に大学生が居て、少年が好きな時に来て勉強が出来るというような、気軽に来れる居場所的のようなものでよいのではないかと。